

RM&FP NEWS LETTER



リスクマネジメント & ファイナンシャルプランニング

2013年 1月 第86号 By FP Compass

迎春



新年明けまして

おめでとうございます。

旧年中のご愛顧に衷心より感謝を申し上げますとともに、本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

平成25年元旦

有限会社 FPコンパス

代表取締役 武田幸夫

スタッフ 一同

◇ファイナンシャルプランナーとは

皆様の夢や思いをかなえるパートナーです。

皆様の家族の夢や目標をかなえるには、まず、それらの思いを馳せながら、実現までの計画しっかり設計することが大切です。

この人生設計を「ライフプラン」と言います。

そして、夢や目標をかなえるには、計画的に資金を用意しておくことがポイントです。

皆様の夢や目標に対して総合的な資金計画を立て、経済的な側面から実現に導く方法

が「ファイナンシャル・プランニング」です。

このためには、金融、税制、不動産、住宅ローン、生命保険、損害保険、年金制度などの幅広い知識が必要になります。

これらの知識を備え、皆様の夢や目標がかなうように一緒に考え、サポートするパートナーが、FP(ファイナンシャル・プランナー)です。

FPは総合的な資産設計を行う専門家。

言わば、「家計のホームドクター®」。

FPは、ライフスタイルや価値観、経済環境を踏まえながら、家族状況、収入と支出の内容、資産、負債、保険など皆様に関するあらゆるデータを集めて、現状を分析します。

そして、皆様のライフプラン上の目標を達成するため、問題や不安を解決するために、皆様の立場で考え、長期的かつ総合的な視点で様々なアドバイスや資産設計を行い、併せてその実行を援助するファイナンシャル・プランニングの専門家です。

また、必要に応じて、弁護士や司法書士、税理士、公認会計士、社会保険労務士、保険・不動産の専門家、銀行・証券会社などの各分野の専門家のネットワークを活かしながら、個人の夢や目標に基づくライフプランを前提に、その実現のために様々な領域に渡る包括的なアプローチによって、必要なファイナンシャル・プランニングを行うのが特徴です。

当社の社名が「FPコンパス」となっていますが、そのFPが「ファイナンシャルプランナー」または「ファイナンシャルプランニング」を意味しております。

蛇足となりますが(巳年に付お許し願えればと思います)コンパスは「羅針盤」を意味し、どんな場所からも常に北磁極に向かって方向を示していることに因んで、FPやリスクマネジメントにおける正しい方向性をお示したいという思いから名付けました。

また、羅針盤は大航海時代に星の観測に使用した六分儀と海図とともに、世界中を航海するのに大きな役割を担いました。

その結果、航海術に長けた国々には、交易により莫大な富をもたらしました。

話は戻りますが、私がFPとしての資格を有しているのは、日本ファイナンシャルプランナーズ協会です。

この協会の資格を維持するのは、2年間でAFPは15単位、CFPは30単位の取得が必要となります。

協会所定のセミナーを受講しても単位はもらえませんが、1時間あたり1単位となります。

このように、この協会のFPは常に最新の知識や事柄、制度の変更などを学んでいることが必要であり、資格維持にはそれなりの時間とコストが必要となります。

また、FPとしての倫理規定を学ぶことを必修としているために、職業倫理観もより高いものを目指しています。

ファイナンシャルプランナーとして、常に学び、皆様のお役に立てるよう精進していきたいと存じます。

◇雪道の安全運転あれこれ

雪の季節は1年間の中でも最も事故やトラブルの多い季節となりますので、運転をする時に心がけたい事を書いてみました。

*雪道の路面

除雪車が入らない道路ではタイヤのわだちができますので、わだちに沿って走行します。わだちが3本になっている場合もあり、そのまま対向車とすれ違えば接触事故になります。その場合譲り合いの精神でもって、適当な待避場所が見つかり次第、早めにわだちから抜けておくことが必要となります。

除雪直後の雪面はツルツルの状態になっており、かなり滑り易くなります。また、日中は雪解けで路面が濡れている時も、夕方から翌朝にかけて気温が低下し路面が凍っていることがあります。これも大変滑り易く危険な路面といえます。対向車のヘッドライトの反射光で判断し、車間距離など十分に確保して余裕の運転を心がけてください。

*坂道

登りは多少スピードが出ても止まり易いですが、反対に下りは滑り易く、思ったようなブレーキ効果が得られませんので、出来るだけ速度を落としブレーキの効き具合を確かめながら下ります。もちろんエンジブレーキの効く低めのギヤ選定を行います。坂道でのすれ違いの場合、下りの車が登りの車が停止しなくとも良いように配慮してあげて下さい。特にFF、FR車は坂道で一旦停止すると上れなくなることが良くあるからです。

*カーブ

カーブでは手前で十分減速することが大切

です。カーブ途中でブレーキを踏むと滑りやすいですからカーブの手前でブレーキ動作を完了させます。カーブ走行中はブレーキやアクセル操作をできるだけ控えて。

* 駐車

停める時の事より、発進時の事を考えて駐車します。発進する時は前向きが良いので、駐車時はバックで行うように心がけます。大雪の時の止め方は、雪を落とす作業を考え、隣の車との距離を十分に取ります。建物の近くに停める時には屋根からの落雪を想定します。サイドブレーキは引かないで、AT車はP、MT車はLかRのギヤポジションにしておきます。

* 交差点

他の車がオーバーランしてくるのを防ぐために停止線の手前で車を止めるとより安全です。特に緩い下りになっている交差点では、自分が思うように止まることが出来なくなりますので、停止線の手前で止める意識は必要です。右左折する場合はカーブと同様十分減速してからハンドルを切ります。減速が十分でないとハンドルを切ってもそのまま直進することがあります。信号の手前で青から黄色に変わった時の判断・対応が難しくなるので、歩行者用の信号が点滅していたり、赤信号に変わった時は、その直後には必ず、自動車用の信号は黄色に変わりますので、歩行者用の信号にも目を向けることが必要となります。歩行者用信号が無くともそろそろ変わりそうな場合は無理せずにいつでも止まれる体制づくりをしておきます。

このような習慣は冬道だけでは無く夏道でも大いに役に立ちますし、先を読む運転方法はエコ運転の極意にもなります。

* 橋

橋は、地熱が無く気温に左右されやすいので凍り易くなっています。一般道路が凍結していなくとも、橋の道路は凍結している場合も良くあります。国道13号線下り線で馬見ヶ崎大橋は下りのカーブとなっており、特に注意が必要です。

* 燃料

雪道では予測できない渋滞や吹雪に遭遇し、車の中に長時間閉じ込められることがあります。燃料の量には注意を払い、余裕を持った給油を行ってください。目安としては、燃料メーターで半分を切ったら満タンにしておくが良いと思います。雪道では燃費も悪化しやすいので、思いがけず燃料が減ることもあり注意が必要です。

* 地吹雪

地吹雪になると視界が遮断され、大変危険です。無理せず安全な場所を見つけ天候の回復を待つのが良いのですが、先を急ぐあまり冷静な対応が出来ない事も考えられます。また、吹きだまりに入れば車の脱出は大変困難となりますので、保険会社等のレッカーサービスの電話番号(最後のページにあるフリーダイヤルがその番号です)を契約している保険会社ごとにメモをしておき不測の事態に備えます。「暴風雪警報」など気候の条件が悪いときは運転を控える勇気を持つことも、安全に直結します。

◇お酒とのつきあい方

年末年始は好き嫌いに係わらずお酒を飲む機会が大変多くなります。

日本におきましては古代からお酒は飲まれていたようですが、「古事記」の中ではヤマブドウや桑の実などが酒造りに使われていたという記録があるそうです。

その後、稲作が日本に伝わり、米から酒が造られるようになると、それ以降日本人は、米を糖化し、アルコール化するという酒造りの方式が高い生産効率となることを覚え、それを基本に技術改良を行ってきたそうです。

お酒の飲み方についても、弥生時代の後半頃に中国人による記述がなされ、お葬式にも酒が飲まれていたことや、酒を飲めば無礼講になるなどと書かれており、その思想というか考え方が約2千年近く連綿と続いていることに驚かされます。

礼節を社会に広く説き、儒教思想の大家である「孔子」は酒の飲む量は多くとも乱れなければ良いと考えていたそうです。

ところで、酒が体内で分解する際にはアセトアルデヒドという物質が発生し、これが二日酔いの原因となります。

つまり、1日24時間に人間の体は160gの

アルコール分解能力しかないから、これをオーバーした分は体内に残ります。

肝臓はアルコール分解作業を、夜を徹して働いていますので、たまには休ませることが必要になります。これが「休肝日」です。

おつまみに、刺身や豆腐といった良質のタンパク質を食べながらお酒を飲めば、アルコールの分解もスムーズに行きますが、何も食べずに飲むのは要注意です。

ネズミを使った実験では、なにも食べずに酒ばかり飲んでいただけの場合に肝硬変になった例もあり、ネズミだけにチューイが必要となります。

◇年末・年始休業のご案内

年末年始の休日が下記の通りとなっておりますので、よろしく願い申し上げます。

平成24年12月30日(土)～

平成25年1月4日(金)まで

損害保険各社の「事故」発生時の連絡先

(携帯でも使用可、365日24時間対応)

あいおいニッセイ 0120-024-024

三井住友海上火災 0120-258-365

日本興亜損害保険 0120-258-110

セコム損害保険 0120-210-545

当社では留守番電話となり、1月5日(土)の午後以降の対応とさせていただきます。

発行者 有限会社 FPコンパス

武田幸夫 大木隼人 西塚英樹 木村正照 阿部 信 大西忠兵衛 阿部 尊

工藤 進 佐藤和一 深瀬幸子 多田恵子 土赤 妙 鈴木由美子

〒994-0063 山形県天童市東長岡2-1-34

TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

E-mail postmaster@fpcompass.co.jp